

倫理委員会審議内容

令和5年10月27日開催

No.4	申請者：與那嶺 和也
課 題	安定的なクロザピン治療の継続を目的とした運動プログラム作りの取り組み
研究の概要	<p>クロザピンによる薬物治療を行うためには定期採血と採血データの持続的なモニタリングが必須となっている。</p> <p>患者の中には採血を早朝に実施すると白血球数がCPMSが定める基準値を下回ることがあるため、医師指示により運動負荷後に採血を行っている。しかし運動負荷後においてもCPMSの基準値を下回ることがあり、患者へ採血と運動を繰り返す苦痛をあたえている。</p> <p>これまでスタッフの主観による運動方法や負荷を判断してきたが、定量化した運動プログラムを作ることで、客観的な評価や個人に合わせた設定も容易になるため、過度な負担をかけないで免疫機能を良好に保つことにつながる。</p>
判 定	条件付承認
利益相反審査判定	承認